



82

にしさばりよくち 西佐波緑地

山口県防府市佐波2丁目

防府市は、山口県の内海沿岸のほぼ中央に位置する街である。本市は、大化2年(646年)に周防の国府が置かれ政治・文化の中心地として栄えた。また、毛利藩による塩田、水田及び紙業などの産業の振興とこれに伴う運送、商業の中心地として繁栄を極めた街である。〔文化・観光〕防府天満宮、周防国分寺、毛利本邸、御神幸祭(裸坊祭)



防府市では、市街地の西の玄関口に市制施行五〇周年記念事業の一環として、「西佐波緑地」を整備した。これは国道二号线と二六二号线が合流交差する都市緑地(タウンスクエア)であり、緑の拠点としての役割をになっている。

植栽地には散策路をつけ植物に親しめるようにし、四季の変化と「のまち」的な雰囲気をかかしている。また、中央部には築山を設け、さらに、最も視線の集まりやすいところにモニュメントを設置し、シンボルスペースとしての演出効果を高めている。

供用開始後は周辺小学校児童による写真展が行われたり、付近住民の散策の場や通学路として、ひろく市民に親しまれている。